

開館  
30周年

# 愛媛人物博物館

# 新たに加わった 偉人たち

来て、見て、発見！伊予の人



+12人

- 凝然 ぎょうなん 鎌倉時代中期の東大寺戒壇院の僧侶
- 山路 一遊 やまじ いちゆう 「教育者」
- 藤原 純友 ふじわらのみとも 平安時代中期の官吏・海賊
- 浦和 盛三郎 うらわ せいざぶろう 「漁業家・金輪網発明者」
- 鷺尾 勘解治 わしお かげじ 「住友別子鉱山（株）最高責任者」
- 城ノブ じょうのぶ キリスト教伝道師・社会事業家
- 河野 兵市 かのの ひょういち 「冒険家」
- 杉浦 非水 すぎの浦 ひづい 「画家」
- 白鷹 幸伯 しらか けい ちか 「銀行員」
- 岩城 蟾居 いわき せんきょ 「俳人・町年寄」
- 早坂 暁 はやさか あきら 「作家・脚本家」
- 道上 伯 みちの ちか はく 「茶道家」

常設展示に新たな偉人たちを加えリニューアルしました。

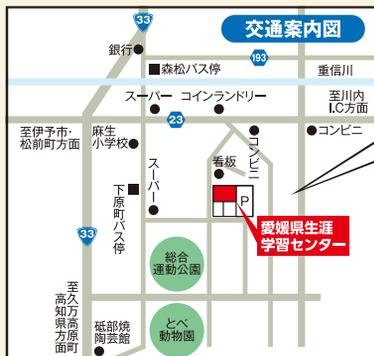
愛媛人物博物館の常設展示のリニューアルには令和2年度電源立地地域対策交付金を活用しています。

## 愛媛人物博物館

愛媛県生涯学習センターの中にある愛媛人物博物館は、愛媛県に深いゆかりのある偉人の遺品や関係の資料を展示し、その業績や生涯を紹介しています。

### ご利用案内

- 開館時間 / 午前9時～午後5時30分まで（展示室への入場は、午後5時まで）
- 休館日 / 月曜日・年末年始（祝日及び振替休日に当たる場合は、その翌日）  
※春期・夏期の学校長期休業期間及びGW期間中は開館します。



- お車でお越しの方は…隣接駐車場（約400台）をご利用ください。
- バスご利用の方は…
- 伊予数バス 砥部方面行き→下原町バス停にて下車（徒歩約15分）
- JRバス 久万高原行き→下原町バス停にて下車（徒歩約15分）

入館  
無料

お問い合わせ

## 愛媛県生涯学習センター

指定管理者／(株)レスパスコパレーション  
松山市上野町甲650番地 TEL 089-963-2111  
URL <https://www.i-manabi.jp/>

# 新たに加わった偉人たち

愛媛ゆかりの偉人の生き方を学ぶ機会を提供するとともに、生涯学習風土の醸成を図るため、平成3年4月に開館した県生涯学習センター内の「愛媛人物博物館」は、平成27年度のリニューアルを経て、愛媛県に深いゆかりのある偉人178人を、9つの分野に分類してその偉業を遺品や関係資料とともに展示・紹介してきました。

この度、愛媛人物博物館が令和3年4月に開館30周年を迎えることを機に、展示の更なる充実を図り、より多くの県民の皆様の一層にお応えするため、常設展示に新たな偉人12名を追加してリニューアルいたしました。

**学 問**



**凝 然**  
(1240 ~ 1321)  
鎌倉時代中期の東大寺戒壇院の僧侶

伊予国越智郡高橋郷（現、今治市）に生まれる。18歳のころ東大寺の円照に師事。華嚴、俱舎、律、三論、成実、法相、天台、真言、禪、浄土などの各宗に精通した学僧として知られる。「八宗綱要」「三国仏法伝通縁起」など広範囲にわたる著作を遺し、著書数は120余部1200余巻といわれる。

(肖像画：東大寺蔵  
画像提供：愛媛県歴史文化博物館)

**教 育**



**山路 一遊**  
(1858 ~ 1932)  
教育者

松山城下（現、松山市）に生まれる。東京師範学校に学び、明治17年、文部省に入省。29歳で高知県師範学校の校長に就任し、以降、香川、兵庫、愛知、滋賀などの師範学校長を歴任した。大正2年、愛媛県師範学校校長となり、教師となる生徒の人格形成に重きを置き、師範教育の改善発展に尽くした。

(肖像写真：『恩師山路一遊先生』より)

**政治・行政**



**藤原 純友**  
(生年不詳 ~ 941)  
平安時代中期の官吏・海賊

伊予掾に任じられたが任の終了後も京に戻らず、伊予国日振島（宇和島市）を拠点に海賊の首領となり、瀬戸内海全域に勢力をのぼした。天慶2年、東国の平将門と時を同じくして反乱を起こし、大宰府（福岡県）を襲撃するなどしたが、朝廷から派遣された小野好古、源経基らによって滅ぼされた。

(浮世絵：愛媛県歴史文化博物館蔵)

**産 業**



**浦和 盛三郎**  
(1843 ~ 1892)  
漁業家・金輪網発明者

御荘組内海浦ノ内網代浦（現、愛南町）に生まれる。明治22年、浦和式金輪網（巻き網の一種）を発明、沖取漁業に画期的技術を導入した。また、漁獲物の塩蔵や燻製を行うための大加工場を建設、それら加工品の大阪への販路を開くため会社を設立するなど地元の漁業と経済の発展に力を尽くした。

(写真提供：愛南町教育委員会)

**産 業**



**鷺尾 勘解治**  
(1881 ~ 1981)  
住友別子鉱山(株)最高責任者

兵庫県武庫郡須磨村（現、神戸市）に生まれる。住友別子鉱業所入社後、一介の坑夫として働いた経験を活かして私塾「自強舎」を開き、坑夫教育と共に、企業と地域の共存共栄に努めた。昭和2年、住友別子鉱山(株)常務取締役就任後、銅山の枯渇を見据えて鉱業に代わる地方後進策を図り、工業都市新居浜の礎を築いた。

(写真提供：新居浜市別子銅山文化遺産課)

**社 会**



**城 ノブ**  
(1872 ~ 1959)  
キリスト教伝道師・社会事業家

温泉郡川上村（現、東温市）に生まれる。聖經女学校（現、青山学院）で学んだ後に全国各地を伝道のために奔走。やがて、『神の啓示』により、苦悩にあえぐ女性救済のため「神戸婦人同情会」を創設。薄幸な女性を保護して自立を助けるとともに、廃娼運動や女性の参政権確立などに尽力した。

(写真：愛媛県生涯学習センター蔵)

**社 会**



**河野 兵市**  
(1958 ~ 2001)  
冒険家

西宇和郡瀬戸町（現、伊方町）に生まれる。22歳で自転車世界一周を目指して日本を出発し、豪州、南米、北米、ユーラシア、アフリカの五大大陸に足跡を残す。この間、南北米大陸最高峰登頂、ユーコン川筏下り、サハラ砂漠徒歩縦断などを行った。平成9年、日本人として初めて、北極点の単独徒歩到達に成功した。

(写真提供：株式会社ここに夢)

**芸 術**



**杉浦 非水**  
(1876 ~ 1965)  
図案家

松山市に生まれる。東京美術学校在学中に川端玉章、黒田清輝に師事。黒田の影響で、当時ヨーロッパで流行したアール・ヌーボー様式のデザインを日本的にアレンジした作品を手がける。三越図案部主任、多摩帝国美術学校（現、多摩美術大学）校長などを歴任、日本のグラフィック・デザイン界で先駆的役割を果たした。

(写真提供：愛媛県美術館)

**芸 術**



**白鷹 幸伯**  
(1935 ~ 2017)  
鍛冶職人

松山市に生まれる。昭和52年、薬師寺西塔の再建用の和釘を製作。薬師寺創建当時に使われた釘の形状、鋼材、鍛造法を研究し、千年の耐久性を兼ね備えた白鳳型和釘を復元した。その後、室生寺や錦帯橋、大洲城や平城宮などの修復、再建用の和釘なども製作し、日本を代表する伝統建築物の保存・復元に尽力した。

(写真提供：能田昭男氏)

**文 芸**



**岩城 蟾居**  
(1789 ~ 1864)  
俳人・町年寄

吉田の町年寄。俳諧は、大坂の松井三津人、京都の成田蒼虹に師事したが自身の信念に基づく俳諧を目指した。当時の宗匠の在り方や月並俳諧への痛烈な批判、実景描写の重視、発句を中心に捉えるなど、子規の俳句革新に先駆けた卓見を多く遺し、江戸俳諧と近代俳句をつなぐ俳人として重要な役割を果たした。

(句碑：宇和島市吉田町東小路  
宇和島市役所吉田支所)

**芸 能**



**早坂 暁**  
(1929 ~ 2017)  
作家・脚本家

北条市（現、松山市）に生まれる。テレビ創世期よりテレビドラマを書き始め、遍路や原爆などをテーマとした重厚なものからコミカルなものまで、幅広い作品を描く。代表作にドラマ「天下御免」(NHK)、「夢千代日記」(NHK)、「花へんろ」(NHK)。自伝的小説「ダウタウン・ヒーローズ」や「華日記」など著作多数。

(写真提供：富田由起子氏)

**ス ポー ツ**



**道上 伯**  
(1912 ~ 2002)  
柔道家

八幡浜市に生まれる。大日本武徳会武道専門学校卒。半世紀に渡り、戦前は東亜同文書院(中国)、戦後はヨーロッパ、アフリカ、アメリカなど54カ国で最高技術顧問として指導にあたり、海外に武士道精神を伝えた。東京五輪金メダリストのヘーシンクをはじめ弟子の数は1億人を超える。試合は、常に誇りをかけた真剣勝負であり、生涯無敗を誇った。

(写真提供：道上雄峰氏)